



受け継がれてきたものを、この街の礎に。

CONCEPT STORY

コンセプトストーリー



外を見れば、景色の中に
当たり前が存在するコンクリート。
いつしか、それは
文明社会に欠かせない生活の基盤となっていた。

日常風景を形づくり
ときに、大きな波をせき止め、
ときに激しい地震に耐え、人々を守る。
私たちが品質と向き合い続けるコンクリートは
地域の生活を支える、大切な使命を全うし
この先の暮らしをつくっていく。

受け継がれてきたものを、この街の礎に。

創業者の志によって生まれたこの会社は
幾度となく挑戦し、道を切り拓いてきた。
街の発展を、復興を、そして人々の安寧を願い
そのために欠かせない存在となった。

だから私たちも、この道につづいていく。
私たちの未来は、地域の未来とともに
ここから大きく広がっていく。



これまでとこれから

これまでの歩み

私たちグループは、昭和31年の創業から半世紀以上に渡り、地域の建設に不可欠な材料を届けています。建設資材全般の「仕入・販売」を担う東北商事と、最重要資材の一つである生コンクリートの「製造」を担う東北レミコンは一体となり、発展と復興に向かう街の歴史の中で、その舞台の土台づくりに携わり続けてきました。私たちの事業は、地域のインフラや建物を建設するお客様をはじめ、メーカー・資材商社・工事業者・輸送業者など、多くの取引先によって支えられています。長い時間の中で紡がれてきた関係は、私たちのかけがえのない財産であり、未来を創造していく力となっています。



目指すブランド像

土木、建築、コンクリート、そして地域。これらの交差点に立つ私たちは、それぞれの歴史の中で先人たちが挑戦してきたことを受け継ぎ、そして結び合わせることで、未来の建設に向かおうとしています。人々が真に豊かさを感じる社会を創造するために、土木も建築もコンクリートも生まれ、発展してきました。そのような社会を私たちの地域で実現するための事業を、これから先も目指し続けます。

MESSAGE

私たちの想い

代表者挨拶



東北商事株式会社 代表取締役
東北レミコン株式会社 代表取締役社長

佐藤 大二郎

創業者の佐藤十郎は、大正12年(1923年)に浪江町棚塩で10人兄弟姉妹の末男として生まれ、14歳で単身満州へ渡った後、知人が支配人をする会社で商売を覚えました。当時の満州では、高速鉄道・高速道路・ダム建設といった世界水準の土木事業や最先端の都市計画事業が行われており、本土より近代化が進んでいたとも言われています。この数年間の大陸生活は、若き十郎の世界観に多大な影響をもたらしました。戦後、突き動かされるかのように、多くの会社設立と事業立ち上げに参画していきます。自身を襲った数度の大病や労働争議など幾多の困難に見舞われはしましたが、社業と地域の発展に向けて突き進み続けました。

創業者は、会社や家庭では大変厳しい存在でしたが、取引関係、血縁関係、共同体関係など、社会とのつながりを大切にする人でもありました。若き日に抱いた社会への理想は、生涯を通じての原動力であり続けたのです。この創業者の理想こそを受け継いで、私たちの事業に挑戦していきたいと思ひます。

私たちの事業は、街づくりに関わります。ただし、日頃取り扱う諸資材が表舞台に立つことはあまりありません。それでも、コンクリートや鉄から生まれた土台は、それこそ街の礎となって私たちを見守り続けます。私たちグループは、昭和31年から地域と共に歩んできました。稀有な歴史を有する相双地方において、建設が果たす役割は限りなく大きいものだと考えています。なぜならば、それは文明が始まって以来、人間社会の在り方に深く関わるものだからです。人々の歴史舞台を整え続けてきた土木や建築という営みは、私たちの地域の未来を創るものでもあります。だからこそ、「良いものを選び、良いものを造り、必要とするところへ届けること」を積み重ねた先にある世界を信じ、私たちの使命に挑戦していきたいと思ひます。理想の地域社会を実現するという創業者の夢を、道しるべとして。

創業者の想い



創業者

佐藤 十郎

建設資材販売



生コンクリート製造

顧客・現場・地域を志向する

2社一体の社会提供価値

良質な建設資材の製造・仕入・販売を積み重ねることで、

安心して暮らすことのできる街を創出しています。

私たちの土地に刻まれた人々の記憶に想いを馳せながら、

新たな人生が織りなされる舞台を造り続けます。



TOHOKU

東北商事 事業概要

地域インフラを支えるために欠かせない良質な資材をメーカーから仕入れ、取引先のお客様にスムーズにお届けすることで、人々が安寧のもとに住むことができる街づくりに貢献しています。多種多様なニーズに応えるべく幅広い商材を取り扱っており、いついかなるときもお客様の要望に全力で応えることを信条に掲げ、メーカー・仕入れ先とも長きにわたって信頼関係を築いてきました。独自の価値提供として「顧客の建設現場と資材メーカーとの間の円滑な橋渡し」を実現してきた歩みが、地域の未来の建設に携わる原動力となっています。



RMC

東北レミコン 事業概要

建設市場における最重要資材である生コンクリートの製造・輸送を一気通貫で担い、県内有数の老舗として地域を支え続けています。原材料となる骨材には地域の大地から生まれた石や砂を使用し、地産地消に貢献しています。社内にはコンクリート主任技士5名が在籍しており、高品質を追求するとともに、実際の施工現場を深く理解した上での提供が可能となっています。また、現場状況に即した輸送を行うために、お客様との密なコミュニケーションを心掛けています。すべての工程において心を配り、最善を尽くすこと。これが、私たち東北レミコンのこだわりです。

主要取扱い商品

セメント・セメント系固化材



- セメント
- セメント系固化材

生コンクリート



- 生コンクリート
- 透水性コンクリート

コンクリート製品



- PHCパイプ ■コンクリートブロック
- ヒューム管 ■コンクリートフリューム
- U字溝 ■ボックスカルバート

鋼材



- 鋼矢板 ■鋼管杭 ■鋼管矢板
- 異形棒鋼

鉄鋼加工製品



- 防護柵(ガードレール・ガードパイプほか)
- フェンス
- ライナープレート ■コルゲートパイプ
- タイロッド・タイワイヤー ■水門

上下水道・農水用管材



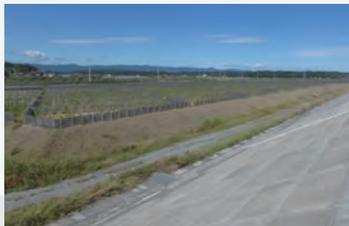
- 塩ビ管 ■ポリエチレン管
- FRP管 ■铸铁管 ■鋼管

リース資材



- 重仮設材 ■仮設橋梁 ■アルミ矢板
- 軽量矢板 ■簡易土留め材

土木資材



- 土のう ■ふとんかご・かごマット
- 防草シート ■植生シート ■吸出し防止材
- 目地材 ■暗渠管 ■簡易ゲート

工事請負

- 杭工事(場所打ち杭・PHC杭・鋼管杭)
- 鋼矢板工事
- 防護柵・フェンス工事
- 地盤改良工事
- コンクリート補修工事

主要取扱いメーカー

セメント・セメント系固化材	太平洋セメント(株)
生コンクリート	東北レミコン(株)
コンクリート製品	東北ポール(株)、共和コンクリート工業(株)、ベルテクス(株)、中川ヒューム管工業(株)
鋼材	日本製鉄(株)、(株)伊藤製鐵所
鉄鋼加工製品	日鉄建材(株)、日鉄神鋼建材(株)、(株)ニッケンフェンスアンドメタル、朝日スチール工業(株)、積水樹脂(株)、旭イノベックス(株)、三重重工業(株)、合鐵産業(株)、(株)エスピー
上下水道・農水用管材	(株)クボタ、(株)クボタケミックス、(株)フソウ
リース資材	ヒロセ(株)、(株)エヌ・エス・ピー
土木資材	大嘉産業(株)、栗原建材産業(株)、日鉄建材(株)、(株)田中、日本植生(株)、アオイ化学工業(株)、デンカ(株)、鳥居化成(株)、中部美化企業(株)

「3つの特長」

顧客志向

「お客様の求めること」が
出発点にあります。
あらゆる局面において、
そこに近づけるための
創意工夫をする工場です。

技術力

機械や材料を扱い、
それらと向き合う人。
私たちの生コンクリートには、
人の研鑽と知恵によって
生まれた技術が詰まっています。

現場対応力

日々刻々と
変わっていく建設現場。
その状況に合わせて、
品質やサービス、供給体制を
調整していく対応力があります。

	原町工場	相馬工場
工場		
所在地	福島県南相馬市原町区北原字東原120	福島県相馬市小泉字山田232
主要供給エリア <small>※それ以外でもお問い合わせ下さい</small>	南相馬市、浪江町、飯館村、葛尾村	相馬市、新地町、南相馬市(鹿島区北部)、飯館村(北部)
トラックアジテータ	大型車x27台、小型車x6台、備車	
使用セメント銘柄	太平洋セメント(株)	太平洋セメント(株)
使用骨材	碎石・砕砂(新地町駒ヶ嶺産、富岡町上手岡産)	碎石・砕砂(新地町駒ヶ嶺産)
ミキサー	光洋機械産業(株)制・強制二軸 2,750ℓ	光洋機械産業(株)制・強制二軸 2,750ℓ
セメントサイロ	300tx1基、200tx2基、150tx1基	200tx1基、150tx1基、135tx1基、100tx1基
骨材ストックヤード	500㎡x5区画、250㎡x2区画	350㎡x5区画、250㎡x1区画
有資格者	コンクリート主任技士x1名 コンクリート技士x5名 品質管理責任者有資格者x5名	コンクリート主任技士x3名 コンクリート技士x3名 品質管理責任者有資格者x4名
	※非製造部門:コンクリート主任技士1名 コンクリート技士1名 コンクリート診断士1名	
JIS表示認証番号	TC0207141	TC0207140
福島県生コンクリート品質管理監査	本年度 合格(マル適マーク付与)	本年度 合格(マル適マーク付与)
連絡先	TEL:0244-23-4101 FAX:0244-23-4102 e-mail:to-rmcha@bz01.plala.or.jp	TEL:0244-36-4185 FAX:0244-36-4186 e-mail:remikon-souma@bz01.plala.or.jp

COMPANY OVERVIEW

会社概要



会社名	東北商事株式会社
所在地	福島県南相馬市原町区北原字東原120
代表者	代表取締役社長 佐藤 研一 / 代表取締役 佐藤 大二郎
創業	昭和31年1月7日
資本金	9,800万円
従業員数	6人
事業内容	建設資材販売
建設業許可	許可番号:福島県知事 許可(般-2)第21092号 建設業の種類:とび・土工工事業
資格者数	一級土木施工管理技士 1名 二級土木施工管理技士 5名
営業時間	8:00 ~ 17:00
連絡先	TEL:0244-32-0817 FAX:0244-32-0818

(令和6年4月1日時点)



会社名	東北レミコン株式会社
所在地	福島県南相馬市原町区北原字東原120
代表者	代表取締役社長 佐藤 大二郎
創業	昭和39年7月2日
資本金	1億円
従業員数	45人
事業内容	生コンクリート製造
資格者数	コンクリート主任技士 5名、コンクリート技士 9名、コンクリート診断士 1名
営業時間	7:30 ~ 16:15
連絡先 (原町工場)	TEL:0244-23-4101 FAX:0244-23-4102 e-mail:to-rmcha@bz01.plala.or.jp
連絡先 (相馬工場)	TEL:0244-36-4185 FAX:0244-36-4186 e-mail:remikon-souma@bz01.plala.or.jp
連絡先 (総務部門)	TEL:0244-32-0817 FAX:0244-32-0818

(令和6年4月1日時点)

COMPANY HISTORY

沿革

大正12年 1923	創業者:佐藤十郎が福島県双葉郡浪江町棚塩にて佐藤藤助・トヨの第十子として生まれる
昭和31年 1956	佐藤十郎が独立し、福島県相馬郡小高町(現・南相馬市小高区)にて東北商事株式会社を設立 相双地方を地盤に建設資材販売事業を展開 原町小野田レミコン株式会社(現・東北レミコン株式会社)を福島県原町市(現・南相馬市原町区)にて設立
昭和39年 1964	小野田セメントグループ(現・太平洋セメントグループ)の一部出資・技術協力を受け、相双地方の建設需要に対応するかたちで生コンクリート事業に進出
昭和40年 1965	原町工場竣工
昭和43年 1968	双葉工場竣工 相馬工場竣工
昭和45年 1970	小野田セメント(株)(現・太平洋セメント(株))の輸送基地である相馬サービス・ステーション(SS)建設実現に尽力(同基地の稼働は「相馬港の重要港湾指定(昭和49年)」に繋がることとなる)
昭和49年 1974	小高工場竣工

平成元 1989	東北商事株の新社屋を小高町(現・南相馬市小高区)に建設
平成12年 2000	グループ2社の代表取締役社長交代(佐藤十郎から佐藤研一へ)
平成15年 2003	創業者:佐藤十郎死去
平成18年 2006	小高工場閉鎖
平成23年 2011	東日本大震災と福島第一原発事故により双葉工場休止 東北商事株の社屋も福島第一原発20km圏内となり、本社機能を東北レミコン(株)相馬工場内に移転
平成30年 2018	東北レミコン(株)原町工場構内にグループ2社の新社屋を建設(本社機能を統合)
令和元 2019	東北レミコン(株)の代表取締役社長交代(佐藤研一から佐藤大二郎へ)



東北商事株式会社 東北レミコン株式会社
公式ホームページはこちら

<https://tohokushojiremicon.com>